

編集・発行
西砂会館
管理運営委員会
委員長 渡辺 茂

立川市西砂町5-11-13
電話：042-531-0066

印刷：マスダ印刷
電話：0428-22-3047



新年を迎えて

管理運営委員会
委員長 渡辺 茂



明けましておめでとうござ
います。日頃は、西砂会館の
運営に対し、地域諸団体、学
校関係、地域の皆様方のご支
援、ご協力を頂き誠に有難う
ございます。

年月の経つのは早いもので、
新型コロナウイルス感染症の
拡大防止による日常生活の活
動自粛が始まって3年になり
ました。この間、地域諸団体
のイベントが中止となり会館
の利用者が半減しました。

さて、令和4年度の会館の
事業は10月29日(土)に防災
訓練、11月27日(日)に管外

研修会を実施、西砂会館恒例
の新年行事であります「まゆ
玉飾り」は規模を縮小して役
員・運営委員のみで1月8日
(日)に実施しました。続け
て1月29日(日)には「初笑い
親子手打ちうどん作り大会」
を西砂川地区文化会と共催で
実施致します。

年度末には、当会館の一大
事業であります「西砂会館ま
つり」を新型コロナウイルス
「第8波」の状況を見て3月
5日(日)に開催したいと思
います。「手打ちうどん」・「杵
つき餅」の模擬店、「地産野
菜店」「包丁研ぎ」等を予定し、
演芸会では日頃練習を重ねて
いるのど自慢、腕自慢の方々
の出演をお願いします。

今後も運営委員会一同、よ
り良い会館になる様、努力し
てまいりますのでご理解、ご
協力をお願い致します。

『会館まつりのご案内』

四年ぶりに西砂会館の会館
まつりを行います。

当日は、手打ちうどんや杵
つき餅、包丁研ぎ、地元野菜
の販売を予定しています。午
後には演芸もあります。みな
様おさそい合わせのうえお越
し下さい。

※尚、コロナ感染症の状況
によりやむなく中止にな
る場合もあります。



『西砂会館管外研修会』

十一月二十七日(日)三年ぶりの日帰りバス研修会を十八名の参加者で行いました。

バス内の講演は役員の笠井氏にお願ひし、明治の頃から終戦後までもない拝島駅周辺のお話し、特に終戦直後の拝島駅の思ひ出話しをして頂きました。



秩父夜祭の屋台①

第一見学場所

「秩父市祭り会館」の中には夜祭りに使用する二台の屋台が雄大に飾られていた。映像室内では毎年十二月二・三日に開かれる秩父夜祭の屋台が

映写され街中を練り歩くのを見る事が出来感動でした。

その後「秩父神社」に移動し境内に祭の屋台を組立するパーツが順番に置かれ、組立作業が行われていました。屋台は一本の釘も使用せずに組立てられるとのことでした。



秩父夜祭の屋台②

第二見学場所

深谷市にある渋沢栄一記念館に到着し、二階の講堂に案内され、二階にはアンドロイドの渋沢栄一氏が立っておりご自身のプロフィールを語りそのみごとに感動しました。



アンドロイドの渋沢栄一氏

第三見学場所

太田市にある「旧中島家」中島飛行機の創設者中島知久平氏が 大正六年に両親のために故郷に築いたもので宮殿様式の特徴が随所に見られる近代和風建築物で国重要文化財に指定されています。



『防災訓練と利用者懇談会』

令和四年十月二十九日(土)に防災訓練を行いました。

当日は会館の役員である塚本氏(東京消防庁防災指導員)に講師をお願いしました。

今回初めて三角巾の巻き方を教えてもらい二人一組で実際にを行いました。



茶の間の風土記

殿ヶ谷用水と子供

私は昭和四四年まで二八年間
 拝島村掘向（現在の昭島市美
 堀町・銀杏並木の辺り）に住
 んでいましたが、横田基地飛
 行機の飛行やエンジンテスト
 騒音のため現在地西砂川に移
 住し、五三年になりました。

戦時中の昭和
 一九年当時、
 現在の福生市
 リサイクルセ
 ンター西側は
 高さ約二メー
 トル程の竹割
 堀で囲われた
 山林で、軍用
 地として警備
 員が常駐する
 場所でした。

終戦後痛んでいた竹垣は壊れ
 山林に入れる状態になって何
 時の間にか子供の遊び場にな
 っていました。

それは山林の中に爆風除けと
 して作られたものと思われる
 土塀で囲まれた施設や三〇〇

m程あろうかと思われる草原
 の空き地があり、そこで子供達
 は、かくれんぼや三角ベース(野
 球)をやる様になったからです。
 山林の南側は殿ヶ谷用水が流
 れていて、この用水を越えて
 山林に入るのですが、何時の
 間にか夏場にはこの用水に入
 り込んで水浴びするようにな
 りました。

更に子供の知恵で木の枝を折
 り取っては水路に積み重ね、
 水の流れを止めて水嵩を上げ
 楽しむ様になっていました。
 時には空き缶の上部両側に穴
 を空け針金を通して、缶を手
 提げに持ち、水路を少し往復
 すると手提げの缶には沢蟹が
 二〇匹程取れているのです。
 砂川の農家の人達によつて川
 さらいをする時は、玉川上水
 の水門を閉めるため時期に
 よつては落ち鮎が何匹も取れ
 る事があり、想い出の残る
 殿ヶ谷用水でした。

笠井 信吾

『まゆ玉飾り』

新春恒例となつております
 「まゆ玉飾り」ですが、相変
 わらずのコロナ禍のため中止
 も考えました。しかし伝統文
 化の途切れを懸念し、本年も
 運営委員のみにて一月八日に
 実施致しました。

江戸時代から続いておりま
 すこの行事は、小正月の一月
 十四日にその年の養蚕の豊作
 を祈願して、「写真」のような
 「まゆ玉飾りを」をしました。



米の粉を熱湯で練り繭にみた
 てた団子にして蒸かします。
 その団子を背丈程の檜や樫の
 木などの枝にさしたものを、
 石臼の穴に立てて飾ります。
 この木には団子のほか蜜柑な
 どもさします。養蚕が盛んで
 あつた頃が偲べれます。
 コロナ禍が収束しましたら
 また、盛大に実施したいと
 思っております。





西砂地区防災訓練
 令和四年十二月四日(日)
 松中小学校に於いて、自治連
 西砂支部主催により、西
 砂地区防災訓練が三年ぶりに
 行われました。コロナ禍の影
 響を考慮し、各自治会ごとに
 人数を制限して約一二〇名で
 の開催となりました。今回の
 訓練は災害時避難所が開設さ
 れた場合を想定し、「間仕切
 り」「簡易トイレ」「マンホー

ルトイレ」の設営「備蓄品倉
 庫」の確認等避難所生活に焦
 点を当てました。
 さらに、消防署員の指導に
 よります消火器の取り扱い訓
 練等も行いました。

三年ぶりの交流会
 令和四年十二月三日(土)
 にコロナ禍のため、開催を見
 合わせてました天王橋会館と
 西砂会館の交流会が、実に三
 年ぶりに再開されました。石
 井、渡辺両委員長の挨拶を皮
 切りに、中止続きであった各
 イベントのこと、両会館の研
 修会について等々活発に意見
 交換がされ
 ました。次
 回は令和五
 年西砂会館
 での開催予
 定です。



◆ 編集委員談 ◆

自転車運転の交通違反(信号
 無視・一時不停止・右側通行・
 無灯火・飲酒運転)あなたは交
 通ルールを守っていますか?
 これまで、警告にとどめてい
 たケースでも、今後は交通切符
 を交付して検挙するという
 ニュースがながれていました。
 都内では令和2年一年間で悪
 質な自転車運転で4300件余
 りが検挙され、自転車に関係す
 る事故も12000件余りと
 年々増加しているそうです。
 コロナ禍の移動手段、フード
 デリバリーの需要などにより自
 転車利用が増えているのも増加
 の原因といわれていますが、今
 一度自身の自転車運転を振り
 返ってみましょう。自分は捕ま
 らないから、事故を起こさない
 から大丈夫なんて、無責任な考
 えは事故のもとです。子供たち
 の悪いお手本とならないよう気
 をつけましょう。

西砂会館利用案内

「開館時間」
 午前九時～午後十時
 「利用申し込み受付日」
 毎月一日と月・水・金の
 午前九時～午後五時
 (正午～午後一時を除く)
 ※印刷機も有料にて利用で
 きます。(受付時間内)
 「休館日」
 第二木曜日・第四火曜日
 「お問い合わせ」
 TEL 五三二一〇〇六六
 ☆会館内は禁煙です

※利用中止の場合
 必ず事前に管理人にご連絡
 をお願いします。電話でも
 可。
 ※利用後の清掃
 部屋・設備の使用後は、
 清掃整理し、ゴミ等はお
 持ち帰り願います。

